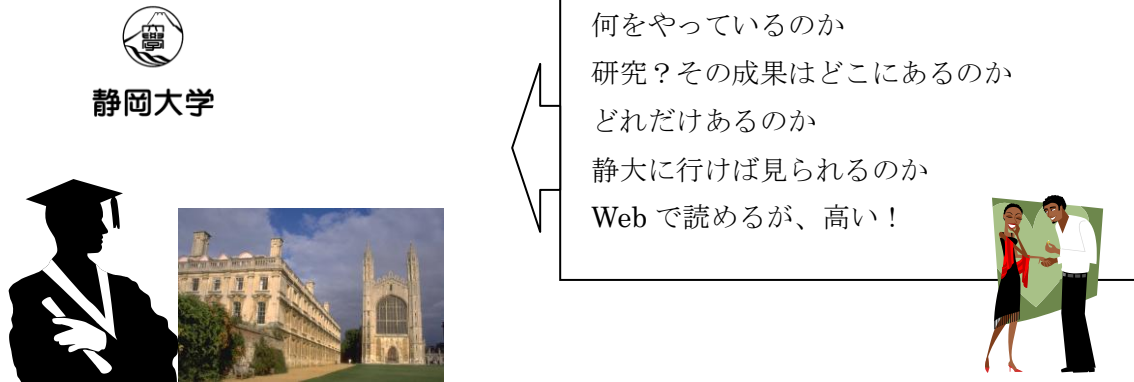
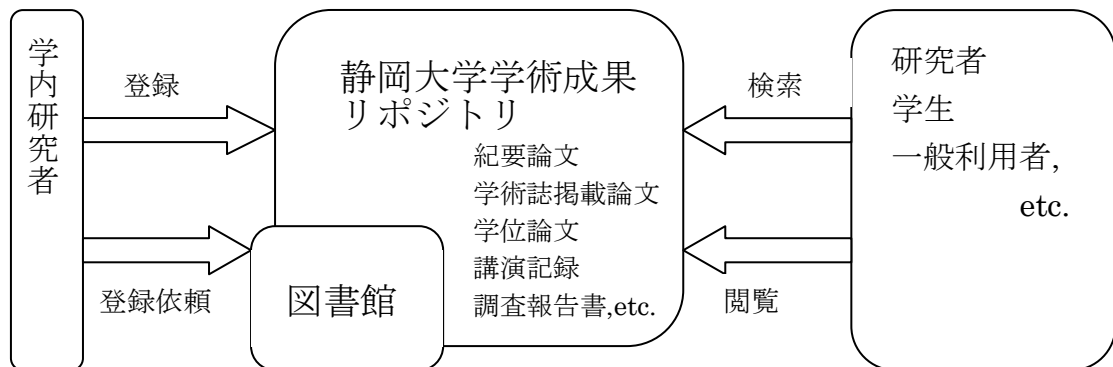


静岡大学学術成果リポジトリの構築



静大の研究成果が いつでも ただで 見られるよう、保存、公開。
(学術成果リポジトリの構築)



研究者のメリット

研究成果を広く公開することで、その影響力が向上します。

研究成果の管理、保存のコストを節約できます。

研究成果を全文検索。ほしい資料がすぐ取り出せます。

研究業績一覧などとの連携で、業績をアピールできます。

大学のメリット

研究機関として強くアピール。

外部資金導入の呼び水。

産学連携の促進。

業務内容			
静岡大学の研究成果物を収集し、必要に応じて電子化し、保存・公開する。			
経緯説明			
H19.2 昨年度第3回図書館委員会で、機関リポジトリ構築に向け検討部会を設置することを決定。			
H19.3～H19.4 検討部会にて3回にわたり収録対象や規模、あり方について検討。まず分野を絞り（地域研究、防災関係）先鞭をつけ、学内への浸透の度合いをうかがいつつ順次拡張していくことで合意に達する。			
収録対象			
紀要論文			
学術雑誌掲載論文あるいはその著者最終稿			
その他の研究成果			
収録予定			
平成19年度 1,000件（電子化済500件含む）			
平成20～21年度 1,000件／年			
※ 以降も、事業継続			
スケジュール			
H19.12 サーバを設置			
H20.1 試験運用			
H20.3（または4） 本番運用開始			
※ 平行して運用方針、運用規則および関連細則の策定、広報、各紀要編集委員会ほか成果物発行団体との交渉、その他権利処理にかかわる交渉等、環境整備を行う。			
設備			
3年リースにてサーバならびにリポジトリシステムを調達する。			
所要経費の内訳			
年度	費目	所要経費	備考
平成19年度	設備費	2,000,000円	初期導入費用含む
	運営費	2,000,000円	消耗品、業務委託料
	計	4,000,000円	
平成20年度	設備費	500,000円	
	運営費	4,000,000円	
	計	4,500,000円	
平成21年度	設備費	500,000円	
	運営費	4,000,000円	
	計	4,500,000円	